

# こんにちは 松坂みち子 です



日本共産党市議会議員 松坂みち子の活動報告  
ご意見など、ぜひお寄せ下さい。

< 242 2015.9.30 連絡先 402-1622 >

## 水道決算に反対

9月15、16日に行われた2014年度水道決算に日本共産党市議団からは、森下、姫田両市議が委員となり、決算認定に反対しました。森下議員が行った反対討論は以下のとおりです。

### 1、有収率向上対策

毎年、0.6%の上昇を目標としてきたものの、当該年度はその目標を達成するどころか大きく下がった。大きな漏水が原因だということだが、予防的事業と対処療法的事業との相乗的取り組みで上がるとしていた目標に見合う事業であったのかどうか問われる。有収率の向上は水道局の大きな目標の一つであり、到達するべき指標にどう努力するのか、総合的に検討することが必要ではないか。

### 2、給水収益の減について

数年来、節水などの影響で給水収益が下がっていることは、公営企業としての現状を見るならば、営業努力に一考の余地があると思われる。

### 3、大滝ダムをはじめとする国への意見

大滝ダムの供用開始以来、多大な減価償却費と維持・管理費の計上を余儀なくされている。多目的ダム法に縛られて、市が追随せざるを得ない現状はひいては市民生活への影響が危惧されることから、国に対し強く法そのものの改善を申し入れるべきである。市に責任はないとはいえ、その改善が見られないことは残念である。

### 4、水道事業のあり方について

給水収益の減少、企業債残高の増加、老朽化する管の整備への投資は今後も必要であることを考えれば、現在の企業会計で進めることは限界があると思われる。市民生活に不可欠な水の供給は市の公的な責務であり、企業会計そのものについて検討する時期に来ていると考える。そのことも併せて指摘し、反対討論とする。

### みち子のひとりごと におい！

じられる嗅覚を大事にしたいと思いません。

茨城・常総市の洪水被害があり、娘が茨城にいますということでご心配の声をいただきました。娘の住むところは、常総市からは40キロ余り離れており、家の前の道は「川」になっていたらしいのですが、幸い実害はありませんでした。ありがとうございました。

山裾の農家の庭先あたりから煙が上がっていました。「煙はええなあ」突然同行者の言葉。私は意味が分からず「えっ?」。彼の次の言葉は「稲刈りの時のにおい、青臭いようなにおい、ええなあ」と、こないだ思ってたんよ。自然を「におい」で感じた感動を語られました。





## 熱い心で 大門みきし

### 絵本のすすめ

以来、絵本の魅力にとりつかれ、670冊まで集めたときに、東日本大震災が起こり、地元ボランティアの方をつうじて、避難所の子もたちに300冊ほど選んで送りました。その中の1冊、「おばけのてんぷら」（せなけいこ）は、ウサギのうさちゃんが、おばけをてんぷらにして食べるお話です。「こわい思い（地震や津波の記憶）なんか、てんぷらにして食べちゃえ」と、子どもたちに伝えたかった。

人間にとって大切なものが見失われ、心のうるおいが少ない世の中になってきました。もしかしたら、いま最も絵本を必要としているのは、子どもたち以上に大人たちかもしれません。



歓迎する声もこの間、たくさん聞いています。戦争法は国民のいのちを危険にさらすものです。私は、戦争法を一刻も早く廃止するために県下を駆けめぐり、みなさんと一緒にその実現へがんばります。

## こんにちは さかぐち多美子です

8月26日に記者発表をして早くも一か月が過ぎました。「母として、看護師として、何としても戦争法案を廃止撤回させたい」という思いをこの記者会見で語った翌日、東京へ行き、国会前の総がかり行動に参加しました。「戦争させない・憲法壊すな」この一点で、考えや立場の違いを大きく超えた多くの参加者と、一緒になって声を上げたときの感動は今でも忘れられません。戦争法案の廃案を求める運動はかつてないほど広がりました。和歌山でも連日各地で様々な行動が行われ、参加者のなかには小さい子どもを連れ



のか、考えただけでも涙が止まらない」と不安を訴えるお母さんもいました。そして法案の中身がわからないといった方がほとんどでした。こういった状況で19日の未明に、安倍内閣は強行に戦争法を成立させました。私の怒りはおさまりません。「許せない」「ひどすぎる」という声とともに、「あきらめない」「これからだ」と勢いを増す仲間のたくましい姿がきらきらと光っていました。こういった方たちの声に真正面から応えた志位委員長らの提案「戦争法廃止の国民連合政府」を

「居ても立っても居られない」と初めてデモに飛び込んできたお母さんもいました。「戦争法案が通ってしまったら子どもがどうなってしまうのか、考えただけでも涙が止まらない」と不安を訴えるお母さんもいました。そして法案の中身がわからないといった方がほとんどでした。こういった状況で19日の未明に、安倍内閣は強行に戦争法を成立させました。私の怒りはおさまりません。「許せない」「ひどすぎる」という声とともに、「あきらめない」「これからだ」と勢いを増す仲間のたくましい姿がきらきらと光っていました。こういった方たちの声に真正面から応えた志位委員長らの提案「戦争法廃止の国民連合政府」を

戦争する国づくりを許さない！  
市9条センター 秋の憲法学習会

### 『テレビがいわない戦争のリアル』

(仮題)

講師 西谷文和氏 (フリージャーナリスト)

10月17日(土) 午後1時30分~4時

J A会館 11階 資料代 500円

(高校生以下無料)

憲法9条を守る和歌山市共同センター 436-3578 (地区内)

